

鹿児島市交通事業経営計画の実施状況 (令和2年度実績)

1. 総括表 (令和2年度末時点)	1
2. 目標指標達成状況	2
3. 計画期間における具体的な取組	
(1) 安全運行の推進	3 ~ 6
(2) 快適で便利なサービスの提供	7 ~ 10
(3) 経営基盤の強化	11 ~ 16
(4) 公営交通事業者としての役割を踏まえた事業推進	17 ~ 22

交通事業経営計画の実施状況 総括表(令和2年度末時点)

施策数	実施済(完了)のもの (◎)	実施中(継続中)のもの (○)	実施時期及び実施内容を 検討中のもの 又は、 実施しなかったもの (△)
基本目標1 安全運行の推進	12	11	1
(1) 運輸安全マネジメントの推進	0	3	0
(2) 乗務員等の健康管理・人材育成	0	3	0
(3) 施設の適切な維持管理等	0	4	0
(4) 災害等への対策	0	1	1
基本目標2 快適で便利なサービスの提供	13	12	1
(1) 快適な車両空間の提供	0	3	0
(2) 待合環境の整備	0	2	1
(3) 利用者の利便性の向上	0	7	0
基本目標3 経営基盤の強化	25	18	6
(1) 運行の効率化	1	2	1
(2) 経費節減	0	6	0
(3) 増収対策	0	6	4
(4) 効果的な資産の活用等	0	2	1
(5) 組織の活性化	0	2	0
基本目標4 公営交通事業者としての役割を踏まえた事業推進	17	14	3
(1) 交通施策との連携	0	2	0
(2) 観光施策との連携	0	4	1
(3) まちづくり施策との連携	0	4	0
(4) 地域社会に根ざした取組	0	4	2
計	1	55	11

目標指標達成状況

基本目標・目標指標	基準値 (H30年度末) a	目標値 (R8年度末) b	R2年度末値 c	進捗率
1 安全運行の推進				
有責事故件数(電車)	10件/年	前年度以下の件数	2件	○ (R元年度:9件)
有責事故件数(バス)	30件/年	前年度以下の件数	34件	× (R元年度:39件)
健診結果が要治療等である者の健康相談への参加率	63.0%	100%	74.2%	30.3%
センターポール照明のLED化	--	100%	20.4%	20.4%
2 快適で便利なサービスの提供				
バリアフリー対応車両の割合(電車・バス)	64.3%	70.0%	73.9%	168.4%
電車車内握り棒の設置	15両	46両	33両	58.1%
電停デジタルサイネージ設置	—	全35停留場	0停留場	0.0%
モバイルバス(スマホ一日乗車券)販売枚数	—	7,000枚/年	1,676枚	23.9%
3 経営基盤の強化				
車体広告の年間稼働率	72.3%	90.0%	82.3%	56.5%
上荒田局舎の年間電気使用量	160,000KWh	計画期間内で3%削減を達成	162,123KWh	△44.2%
遊休資産(車両、土地)の売却額	—	累計2.5億円	7,545千円	3.0%
4 公営交通事業者としての役割を踏まえた事業推進				
シニア定期券販売枚数	2,039枚/年	2,100枚/年	1,349枚	△1131.1%
排出ガス規制適合車の割合(バス)	63.8%	80.0%	83.7%	122.8%
職場体験学習アンケート結果で「交通局を選んでよかった」の割合	60.0%	90.0%	100.0%	133.3%

※進捗率計算式: (R2年度末値 - 基準値) / (目標値 - 基準値) × 100

1 安全運行の推進

(1) 運輸安全マネジメントの推進

施策 No.	具体的な取組	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課
1	安全管理体制の確立等 日頃から危険要素の排除に努め、常に安全意識を高く持つことで業務にやり取り細むとともに、法令等に基づき、局の安全管理体制を確立し、輸送の安全の水準の維持及び向上を図ります。また、局が設置する運輸安全マネジメント委員会において安全重点施策を決定するなど、安全管理のマネジメントを行うとともに、毎年度、輸送の安全に関わる情報を公開します。	○	● 運輸安全マネジメント委員会、内部監査員養成研修会、内部監査、各事業課における研修会、訓練等を実施した。 ● 運輸安全マネジメント委員会 第1回 令和2年5月19日開催 第2回 令和2年10月27日開催 第3回 令和3年3月25日開催 ● 輸送の安全に関する公表 ● 令和2年7月9日公表(局HP・掲示板) ● 内部監査員養成研修会 令和2年8月27日開催 ● 内部監査 令和3年1月28日実施 ● 事故等調査委員会(開催なし) ● 各事業課における研修会、訓練等 < 電車事業課 > 現任教習研修(16回)、脱線復旧等訓練(1回) など < バス事業課 > 乗務員研修(5回)、運行管理者一般講習(1回)、整備主任者技術研修(1回)、整備主任者等定期研修(1回) など	総務課
2	ヒヤリハット情報等の収集・活用 重大な事故等には至らないが、その一歩手前の事例等を収集し、職員間で情報共有することによって、未然防止に努めます。また、ドライブレコーダーに記録された情報を迅速に確認するなど、事故処理・対応に活用するとともに、乗務員研修等にも積極的に活用します。	○	【電車事業課】 ● ヒヤリハット事例を点呼時や毎朝ミーティングで情報共有し、事故の未然防止に努めた。 ● ドライブレコーダーの映像を迅速な事故処理・対応に活用したほか、全体研修等において、積極的に活用し、職員のより一層の安全意識の向上に努めた。 【バス事業課】 ● ヒヤリハット情報の記録映像を乗務員研修に用いるなど積極的な活用を図り、より一層の安全意識の向上に努めた。	電車事業課 バス事業課
3	重大な事故等への対応 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処理をとるとともに、被害の拡大防止に取り組みます。また、事故等調査委員会において原因の調査説明等を行い、今後の再発防止を図るとともに、一定基準以上の事故等は、随時、情報を公開します。 【目標値】 有責事故件数(電車/バス) (H30末)電車 10件/年、バス 30件/年 → (R8末)前年度以下以下の件数	○	【総務課】 ● 事故・トラブル情報を交通局HPに掲載した。 ● 電車(19件):車内転倒、道路障害 など ● バス(3件):人身事故、装置故障 ● 事故等調査委員会の開催実績なし 【電車事業課】 ● 重大事故については、発生していない。 ● 国への報告が必要な事案については、台風接近に伴う計画運休を含めて2件発生したが、迅速・適切に対応した。 【バス事業課】 ● 重大事故については、直営においては発生していない。なお、委託事業者において、国への報告が必要な事案が2件発生したが、適切に対応した。	総務課 電車事業課 バス事業課

【目標指標の実績】
有責事故件数

	電車	バス	(うち直営)
R2	2件	34件	25件
R1	9件	39件	21件
増減	△ 7件	△ 5件	4

(2) 乗務員等の健康管理・人材育成

実施策 No. 計画掲載 具体的な取組	実施状況 令和2年度実績 (実施内容)	所管課
安全衛生管理の推進 定期健康診断等の結果が「要治療」の者等に対する健康指導や相談などの徹底により、乗務員等の健康維持を図るとともに、SAS(睡眠時無呼吸症候群)検査やメンタルヘルス対策、安全衛生委員が行う職場点検等を通じた快適な職場環境の形成を促進することで、安全輸送と事故防止に繋がります。 【目標指標】 健康診断が要治療等である者の健康相談への参加率 (H30末)63% → (R8末)100%	○ ● 安全衛生委員会にて年2回(7月、10月)に職場点検を行った。 ● 全職員(会計年度任用職員含む)を対象に定期健康診断を実施した。 - 実施時期: 令和2年4月~6月 - 受診率: 100% (315名受診) ・「要治療」等所見者 72名 ● 定期健康診断の結果に基づき、毎月、健康相談を実施した。 - 上荒田局舎、新栄営業所それぞれ6回、計12回実施した。 ● SAS(睡眠時無呼吸症候群)検査を令和2年8月17日~31日まで実施した。(70名受診) ● STレスチェックを令和2年7月29日~8月12日まで実施した。(343名受診) 【目標指標の実績】 健康診断が要治療等である者の健康相談への参加率: 74.2% (112名) 対前年度増減: 4.2% [令和元年度実績: 70.0% (93名)]	総務課
職員研修の充実 快適な職場環境づくりや職員の資質向上等にむけた管理職員に対する職場のマネジメントや人材育成のための研修、電車・バス両事業課における部門間の連携・協力や整備部門での知識・技術の習得のための研修などを行います。	○ 【総務課】 ● 研修計画に基づき、職員研修を実施した。 ・新橋採用職員研修(局採用職員が対象) 令和2年5月12日実施 3名出席 ・新任主査研修(主査昇格者のうち局採用職員が対象) 令和2年6月23日実施 7名出席 ・前日研修(採用後5年、10年、15年、20年の局採用職員が対象) 令和2年8月25日、27日実施 18名出席 【電車事業課】 ● 新型コロナウイルス感染症対策のため、書面研修となった回を含めて3回の研修を実施した。また、電車事業課全体で脱線復旧訓練を行った他、各係において計画的に研修を実施した。 【バス事業課】 ● 新型コロナウイルス感染症対策のため、書面研修となった回を含めて5回の研修を実施した。なお、外部研修については公共交通事業協会主催の「省エネルギー運転研修」、「運行管理者研修」が中止となった他、茨城県の安全運転研修所に派遣予定の研修には参加しなかった。	総務課 電車事業課 バス事業課
技術の承継 優れた運転技能や整備等に関する知識・経験やノウハウを次の世代に承継していくため、乗務員については、ドライブレコーダーの映像等も活用した研修を実施することも、必要に応じて、運行指令や運行管理者、マスタードライバーなどによる指導等を行います。また、整備や施設管理等においては、熟練者による指導はもとより、作業技術が確実を受け継がれるための仕組みづくりを検討します。	○ 【電車事業課】 ● 乗務員に対して、年3回の全体研修において、ドライブレコーダーを活用しながら、安全統括管理者が事故削減に向け指導を行った。 ● 整備士に対して、整備マニュアルに沿った作業を行うよう、熟練者等による研修を定期的に行い、技術の継承が図られるよう努めた。 【バス事業課】 ● 乗務員に対して、ドライブレコーダー映像を活用した研修や運行管理者による添乗研修を実施するなどの指導を行った。 ● 整備技術については、必要に応じて複数人で実施するなどの作業技術の共有化を図っている。 ● マスタードライバーなどによる指導等については、今後、検討することとしたい。	電車事業課 バス事業課

(3) 施設の適切な維持管理等

施策 No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課
7	P26	<p>基盤設備の維持・向上 <拡充></p> <p>電車の安全輸送のため、軌道や架線等の設備について定期的に巡視・点検、検査を実施し、不具合箇所を速やかに補修するなど機能の維持に努めるとともに、老朽化が懸念される設備等について、年次の更新を行います。また、市電センターポールの水銀灯については、LED化を進めます。</p> <p>[目標指標] センターポール照明のLED化 0% → 100%</p>	○	<p>● 軌道や架線等の整備の定期的な巡視・点検、補修等を行うとともに、高見馬場交差点から椋島棧橋通電停留間のセンターポール照明に使用されている水銀灯(100個)をLEDに交換する工事を実施した。</p> <p>[目標指標の実績] センターポール照明のLED化：20.4% [100個/490個] (令和3年3月31日時点)</p>	電車事業課
8	P26	<p>道路交差点内の軌道敷舗装の改修</p> <p>県道交差点内の軌道敷舗装について、道路管理者と協議し計画的に損傷部の改修を行い、車両横断時の騒音及び振動の軽減に努めます。</p>	○	<p>● 郡元電停交差点(源橋方面)連接軌道ブロック構造への軌道改良工事を実施し、平成28年度から継続してきた郡元電停交差点軌道改良事業を令和2年12月7日に完了した。</p> <p>● 荒田八幡交差点の舗装段差について、道路管理者(県)と協議を行い、道路管理者が車道部の舗装のかさ上げを行い、交通局が軌道敷内の舗装の切削を実施し、同交差点の段差を解消した。</p>	電車事業課
9	P26	<p>作業環境の効率性向上</p> <p>車両整備や施設の維持管理を効率的かつ安全に行うため、旋盤等の整備機器を計画的に更新し、作業の精度と効率性を高めます。また、バス車両の洗車のあり方について検討します。</p>	○	<p>【電車事業課】</p> <p>● 車輪の外輪交換時に行う外輪の内径研削作業における内径の測定精度向上のため、測定用マイクロメータとシンリンターダイヤルゲージを購入し、効率的な測定を行ったほか、削りすぎによる外輪のロスや、外輪と輪心の嵌合寸法の誤差が生じる車輪の脱落による事故の防止を図った。</p> <p>● 老朽化した現行車両に代わる高所作業車の購入契約を締結した(令和3年度納入予定)。</p> <p>【バス事業課】</p> <p>● 作業環境の向上への取り組みとして、令和3年度からの車両整備の制度変更に向けて、機器購入や人材育成に取り組み予定である。</p> <p>● バス車両の洗車のあり方について、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経営への影響を踏まえて、今後、検討する。</p>	電車事業課 バス事業課
10	P26	<p>車内の安全性向上</p> <p>車内での事故を未然に防止するための乗務員研修・教育の充実を図るとともに、車内転倒事故などの防止について利用者へ啓蒙を行います。また、現在、市電の車内に試験的に設置している握り棒の効果を検証するほか、濡れるとすべりやすくなる心皿やステッブなど隠れた車内の危険を改めて洗い出し、その解消に向けて取り組めます。</p> <p>[目標指標] 電車車内握り棒の設置 (H30末)15両 → (R8末)46両</p>	○	<p>【電車事業課】</p> <p>● 車内転倒防止のため、9両に握り棒を追加設置した。(令和4年度完了予定)</p> <p>【バス事業課】</p> <p>● 車内事故防止について、乗務員研修の実施等行った他、利用者に対し、バス車内通路床面に注意喚起のシールを貼付するなど事故防止に努めた。</p> <p>[目標指標の実績] 電車車内握り棒の設置：33両 (令和3年3月31日時点)</p>	電車事業課 バス事業課

(4) 災害等への対策

施策 No. 計画掲載	具体的な取組 ◎=実施済(完了)のもの ○=実施中(継続中)のもの △=実施時期及び実施内容を検討中のもの、又は実施しなかつたもの	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課
11 P26	北営業所の耐震化 <拡充> 北営業所施設を長期的に使用可能なものとするため、令和元年度に実施した同施設に係る耐震診断の結果に基づき、必要な耐震化工事等を行います。	△	●北営業所施設は、昭和52年に建築された築43年の建物で、いわゆる旧耐震基準で建築されており、耐震診断の結果、地震による建物の崩壊の危険は低いと判断されたものの、指摘のあった高架水槽の撤去を令和3年度に実施する予定である。	バス事業課
12 P26	対応マニュアル等の整備や訓練等の実施 自然現象や人為的な原因によって災害が発生した場合に、様々な対応を適切に実施するため、乗務中に発生した災害への適確な対応や、災害が事業に与える影響を軽減し、より早く事業を再開できるようにする初動対応マニュアル等の整備を検討するとともに、具体的な事例を想定した災害復旧訓練や防災訓練等に取り組みます。	○	●人事異動に伴い、災害対策要員の配備等マニュアル、災害対策配備要員名簿(連絡網)、通常業務優先区分表(旧業務継続計画)等の整備を行った。 ●市災害対策本部における各種訓練等の参加や局内において研修を実施した。 ・桜島火山噴霧総合防災訓練 ・災害対策本部設置訓練 ・台風対応マニュアル研修 ・緊急地震速報対応訓練(Jアラート) など	総務課

2 快適で便利なサービスの提供

(1) 快適な車両空間の提供

実施No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課																												
13	P27	<p>低公害・低床型車両の運行 引き続き、超低床電車や低公害・低床型バスを運行することにより、全ての利用者が快適に利用できる環境を提供します。なお、車両を購入する必要が生じた場合には、原則、低公害・低床型の車両を選択することとします。</p> <p>【目標指標】バリアフリー対応車両の割合(電車、バス) (H30末)64.3% → (R8末)70%</p>	○	<p>【電車事業課】 ● 新規購入の際は、超低床電車の導入に向け検討する。 ● 各系統において、約4本に1本の割合で、低床車両を運行した。</p> <p>【バス事業課】 ● 令和2年度における車両購入の実績はないが、車両購入時には、低公害・低床型の車両を導入することとしている。 ● 一部の小型バスを除き、全車低床バスで運行した。 ※乗合バス148両中、133両が低床バス</p> <p>【目標指標の実績】バリアフリー対応車両の割合 (令和3年3月31日時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>電車</th> <th>車両数</th> <th>バス</th> <th>車両数</th> <th>合計</th> <th>車両数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>30.9%</td> <td>17/55両</td> <td>89.9%</td> <td>乗合133/148両</td> <td>73.9%</td> <td>150/203両</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>30.9%</td> <td>17/55両</td> <td>75.2%</td> <td>乗合155/206両</td> <td>65.9%</td> <td>172/261両</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>0.0%</td> <td></td> <td>14.6%</td> <td></td> <td>8.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		電車	車両数	バス	車両数	合計	車両数	R2	30.9%	17/55両	89.9%	乗合133/148両	73.9%	150/203両	R1	30.9%	17/55両	75.2%	乗合155/206両	65.9%	172/261両	増減	0.0%		14.6%		8.0%		電車事業課 バス事業課
	電車	車両数	バス	車両数	合計	車両数																											
R2	30.9%	17/55両	89.9%	乗合133/148両	73.9%	150/203両																											
R1	30.9%	17/55両	75.2%	乗合155/206両	65.9%	172/261両																											
増減	0.0%		14.6%		8.0%																												
14	P27	<p>乗務員等の接客マナーの向上 乗務員等の接客サービスの均等化と向上を図るため、接客マナーに関する研修を定期的に実施します。</p>	○	<p>【電車事業課】 ● 接客及び接遇に関する項目を入れた研修を年3回実施した。</p> <p>【バス事業課】 ● 乗務員研修時に接客接遇に関する内容研修を行った他、運行管理者等による添乗指導等を実施し接遇マナーの向上に努めた。</p>	電車事業課 バス事業課																												
15	P27	<p>利用者への啓発 利用される方々が快適に過ごせる車内環境となるよう、車内における迷惑行為防止や混雑時のゆとりあり等のマナー向上等について、乗務員等によるアナウンスや車内への啓発ポスターの掲示、マナーアップ期間の設定など、利用者への更なる啓発に努めます。</p>	○	<p>【総合企画課】 ● 市営バスの乗降時の乗降動画を制作し、令和2年12月1日から局公式YouTubeチャンネルで配信することで、乗降時のマナー向上を呼びかけた。</p> <p>【電車事業課・バス事業課】 ● 音声合成による車内放送、乗務員による車内アナウンス及びポスター掲示により利用者への乗車マナー啓発を行うとともに、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、音声合成による車内放送及びポスター掲示により、窓の開放や咳エチケット等への理解と協力を呼びかけた。</p>	総合企画課 電車事業課 バス事業課																												

(2) 待合環境の整備

実施No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課
16	P27	<p>市電停留場の改修 老朽化した市電停留場等の上屋を改修するとともに、歩道の幅員等について一定の基準を満たした市バス停留所へのベンチ設置を進めるなど、待合環境の向上に努めます。また、車いすでの利用が難しい停留場については、国・県への働きかけ等を継続しながら、道路改良工事等の機会を捉えて道路管理者との協議を行い、幅員の拡幅に努めます。</p>	○	<p>令和2年度実績 (実施内容)</p>	電車事業課

(2) 待合環境の整備

施策No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課
17	P27	<p>電子看板(デジタルサイネージ)の導入 <新規></p> <p>市電停留場に、路線や時刻表のほか、走行している車両の位置や低床型などの種類、事故等による緊急情報等を通じた多言語で提供する電子看板(デジタルサイネージ)の整備を検討します。また、バス停留所については、県バス協会や市内を運行する民間バス事業者との連携を図り、市街地中心部の共同バス停への整備を検討します。</p> <p>[目標指標] デジタルサイネージ設置(電車) 全35停留場 (H30末)0 → (R8末)全35停留場</p>	△	<p>【総合企画課・電車事業課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 民間資金を活用した市電停留場へのデジタルサイネージの整備については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等を踏まえ、留保している。 <p>【総合企画課・バス事業課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市街地中心部の共同バス停へのデジタルサイネージ整備については、天文館地区の再開発の進捗を踏まえながら、県バス協会及び民間バス事業者と情報交換を行った。 <p>[目標指標の実績]</p> <p>デジタルサイネージ設置(電車)：0停留場</p>	総合企画課 電車事業課 バス事業課
18	P27	<p>鹿児島駅前停留場の整備 <拡充></p> <p>鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業によるJR鹿児島駅舎建替えにあわせて、交通結節の機能強化と利便性の向上を図るため、鹿児島駅前停留場について、バリアフリーに対応した拡幅や上屋及び軌道施設整備、電気設備の改良等に取り組みます。</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 視覚障害者用誘導ブロックの設置等、バリアフリーに対応した停留場として鹿児島駅前停留場を整備し、令和3年3月27日から供用を開始した。 	電車事業課

(3) 利用者の利便性の向上

施策No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課
19	P27	<p>キャッシュレス運賃決済の導入検討 <拡充></p> <p>民間のバス事業者と連携して導入した独自のIC乗車カード「ラピカ」の機器等の老朽化や、交通系ICカード全国相互利用サービスに関する要望への対応等を図るため、技術革新が進む様々なキャッシュレス運賃決済の導入やICTの更なる活用の検討など、今後のIC乗車カードのあり方について検討します。</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国交通系ICカードの導入については、業者への聞き取り調査等を行い、設備投資に係る初期費用や手数料等の維持管理費用などから、費用対効果の面で課題が多いことを確認した。 ● 今後のIC乗車カードのあり方については、QRコードによるスマートフォン決済やクレジットカードによる運賃決済など、低コストで効率的な技術開発の動きを注視しつつ、市内の他の交通事業者との調整を図りながら、総合的に検討する。 	総合企画課
20	P28	<p>モバイルバス(スマホ一日乗車券)の導入 <新規></p> <p>紙製・スクラッチ方式の一日乗車券に加え、利用者が自身のスマートフォン等で購入し利用することができる「モバイルバス(スマホ一日乗車券)」を導入します。</p> <p>[目標指標] モバイルバス(スマホ一日乗車券)販売枚数 (H30末)0 → (R8末)7,000枚/年</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の利便性向上のため、従来の一日乗車券に加え、スマートフォン等のアプリで購入できる「スマホ一日乗車券」を導入した。 ・サービス開始：令和2年8月1日 ・アプリ：乗換案内(ジョルダン(株)) ・価格：大人 600円、小児 300円(※紙製と同額) ・利用できる路線：市電(観光レトロ電車含む)、市バス、カゴシマシティビュー(※紙製と同じ) <p>[目標指標の実績]</p> <p>モバイルバス(スマホ一日乗車券)販売実績：1,676枚 (令和2年8月1日～令和3年3月31日)</p>	総合企画課

(3) 利用者の利便性の向上

実施No. 計画掲載	具体的な取組 ◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容を検討中のもの、又は実施しなかったもの	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課
21 P28	国体おもてなしラピカルの発売 <新規> 令和2年に鹿児島国体開催を控えるなど、交通人口の拡大が予測される中、県外からの訪問者が快適に市電・市バスを利用できるよう、既存のICカードを再利用し、回数券機能だけを有し、本市来訪の記念に持ち帰ることもできるデボジット(保証金)なしのIC乗車カード「国体おもてなしラピカル」を発売します。	○	●コロナ禍により、国体の開催が延期となったため、観光客や修学旅行生向けに「観光おもてなしラピカル」を発売した。 ・販売開始：令和2年8月1日 ・製作枚数：3,000枚 ・販売実績：791枚(令和2年8月1日～令和3年3月31日) ・発売場所 (交通局内) 各乗車券発売所(※車内では発売しない) (ホテル 7施設) 東急REI、サンロイヤル、ソラリア西鉄、ガストフ、プラザホテル天文館、リッチモンドホテル(天文館、金生町) (その他 3施設) 鹿児島中央駅総合観光案内所、かごしま特産品市場、鹿児島空港総合・観光案内所	総合企画課
22 P28	ロケーションシステムの運用 利用者が自身のスマートフォン等を用いて、運行中の市電・市バスの路線情報、時刻表及び車両位置情報等を多言語で検索し閲覧することができるロケーションシステムを運用することで、目的地への移動のフォロー、インバウンド対応及び待ち時間の負担軽減等を図ります。	○	【総合企画課】 ●令和2年1月1日に本格運用を開始したロケーションシステムの運用を行うとともに、ダイヤ改正等に応じてデータの修正等を行った。 <利用者向けアプリ> ・MOKUJKU：経路・料金検索(多言語対応) ・PINA：市電・市バスの位置情報 ・乗PINA：登録停留場(所)への接近情報 <対象車両(令和3年3月31日現在)> ・市電：55両 ・市バス：142両 【電車事業課】 ●電車運行情報システムと併用してロケーションシステムを運用することで、より正確な運行情報を把握し、運行管理に活用した。 【バス事業課】 ●引き続きロケーションシステムを運用するとともに、電話等による遅延運行の問い合わせへの対応時には、システムにより運行状況を確認し迅速に対応した。	総合企画課 電車事業課 バス事業課
23 P28	多様な媒体を通じた情報発信 <拡充> ホームページ及び市電・市バス車内や停留場等において、時刻表や路線図、各種乗車券の情報などを提供するほか、「市民のひろば」や市政広報テレビ番組、局フェイスブック等を通じて、局の取組に関する情報提供に努めます。また、災害や事故発生時等の運行情報をリアルタイムで発信するため、ツイッターやウェイボ(中国版ツイッター)の活用を検討します。	○	●局公式ツイッターを開設し、災害や事故発生等の運行情報についてリアルタイムでの発信を行ったほか、局公式YouTubeチャンネルを開設し、市営バスの乗り方やロケーションシステムの情報提供や新たなファンとの獲得に努めた。 <Twitter> ・開設：令和2年8月1日 ・フォロワー数：1,535人(令和3年3月31日現在) ・ツイート数：102ツイート(令和3年3月31日現在) <YouTube> ・開設：令和2年12月1日 ・チャンネル登録者数：196人(令和3年3月31日現在) ・配信動画本数：8本(令和3年3月31日現在)	総合企画課

(3) 利用者の利便性の向上

施策 No.	計画 掲載	具体的な取組 <small> ◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容を検討中のもの、又は実施しなかったもの </small>	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課
24	P28	オープンデータの提供 <新規> 市電・市バスの時刻、路線等の情報について、「標準的なバス情報フォーマット」に準拠するデータ(GTFS-JPデータ等)を整備し、乗換案内等を行っている事業者に提供することとで、観光客、インバウンド向けも含めた市電・市バス利用者の利便性向上を図ります。	○	●市営バスの運行データについて、国が指定する標準様式であるGTFS-JPデータを作成し、Googleへ提供したほか、他の経路検索事業者等が利用できるように、鹿児島市オープンデータに掲載した。 ・Google提供：令和2年6月24日 ・鹿児島市オープンデータ掲載依頼：令和2年9月1日 ・経路検索事業者(6社)への通知：令和2年9月4日	総合企画課
25	P28	交通局モニターのさらなる活用 <拡充> 交通局モニターを設置し、様々な意見を継続的に把握することで、輸送サービスの上を図ります。また、外国人からの視点で輸送サービス改善等に関する意見を把握するため、新たに、本市に居住する外国人を対象とする枠を創設します。	○	●令和2年度モニター15名のうち、外国人3名を採用し、YouTubeで配信している動画への多言語字幕表示等について、外国人の視点から意見をいただいた。 ・令和2年度モニター：15名(うち、外国人3名[米国籍1名、中国籍1名、韓国籍1名]) ・モニター通信提出件数(令和2年3月31日時点)：49件(うち、外国人からの提出13件) 対前年度増減：△14件[令和元年度実績：63件]	総合企画課

3 経営基盤の強化
(1) 運行の効率化

施策No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課
26	P29	<p>路線、ダイヤの見直し</p> <p>乗客需要や経済性を踏まえつつ、全路線を対象として、IC乗車カードシステムの利用促進、交通局モニターからの意見・提言、利用者アンケート等により、市電・市バスの利用状況やニーズ等を定期的に調査・分析し、必要に応じて経路やダイヤ等の見直しを行います。</p>	○	<p>【電車事業課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鹿見島駅前停留場の供用開始に伴うダイヤ改正及び乗車率の低い便の減便等によるダイヤ改正を行った。(令和3年3月27日改正) <p>【バス事業課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 桜島フェリー接続の利便性向上を目的に、60番桜島線のダイヤ改正を実施した。また、60番の改正に伴い、乗り継ぎで運行時刻を設定している70番桜島代替線もダイヤ改正を実施した。(令和2年11月1日改正) ● 運行の効率化を図るための運行経路の変更やダイヤ改正を検討し、運行系統新設に係る申請等を行った。 	電車事業課 バス事業課
27	P29	<p>共同運行の効率化等の検討</p> <p>民間事業者との共同運行については、路線の移譲に伴いその一部を解消しましたが、継続している路線については、効率化するための方策等を協議・検討します。</p>	○	<p>【総合企画課・バス事業課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和3年4月の路線移譲に伴い、7番 明和・中央駅西口線、26番 明和線(旭ヶ丘)の共同運行を解消したほか、4番線については、令和3年4月1日付で局で全便の運行を引き継ぐこととし、効率的な運用となるよう運行経路及びダイヤの検討を行ったほか、認可手続きや周知広報を行った。 	総合企画課 バス事業課
28	P29	<p>バス車両の再配置</p> <p>市バスの一部路線の移譲に伴い、運行に必要な車両数が減少することから、効率的な運行管理を行うため、新栄営業所に車両を集約します。</p>	◎	<ul style="list-style-type: none"> ● 直営で管理する車両の全てを新栄営業所の所属とし、効率的な車両管理に努めた。 	バス事業課
29	P29	<p>定期観光バスの見直し</p> <p>定期観光バスについて、民間事業者との役割分担を視野に入れながら、日本ジオパークなどの観光資源を生かした運行コース等の見直しを検討します。</p>	△	<p>【総合企画課・バス事業課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言に伴う運休を行ったが、運行コース等の見直しには至っていない。 <p><かこしま歴史探訪コース> 運休期間：令和2年4月11日～5月17日、令和3年2月8日～3月7日 <桜島自然遊覧コース> 運休期間：令和2年4月18日～5月17日、令和3年2月8日～3月7日</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運行コース等の見直しについては、競合する民間事業者の運行休止、国体の延期等を踏まえ、令和3年度以降に見直しを検討する。 	総合企画課 バス事業課

◎=実施済(完了)のもの
○=実施中(継続中)のもの
△=実施時期及び実施内容を検討中のもの、又は実施しなかったもの

(2) 経費節減

施策No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課																						
30	P29	<p>管理の受委託の実施</p> <p>運行経費の削減を図るため、引き続き、管理の受委託を実施します。合わせて、安全運行や利用者サービス等の維持・向上に資するため、継続的に指導・監督を行い、受託者の業務改善を促します。</p>	○	<p>【総合企画課・バス事業課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度においても引き続き管理の委託を行い経費節減に努めた。受託者へは、乗務員研修等、機会を捉えて指導・監督を実施した。 委託期間：平成29年4月1日～令和4年3月31日 委託路線：13路線（北営業所管内）、2路線（桜島営業所管内） 委託事業者：南国交通株式会社 委託業務の実施状況について、評価委員会による評価を行い、委託の実施効果及び南国交通（株）への委託を継続することの妥当性について認められた。また、委員会から指摘のあった改善すべき事項については、南国交通（株）に通知し、改善策を提出させた。 評価委員会開催実績：5回 	総合企画課 バス事業課																						
31	P29	<p>人件費の抑制</p> <p>業務・組織体制の見直しや運行の見直し等による業務量の変動に際し、適正な人員配置を行うとともに、市長事務部局等への出向について、関係部局と協議し、人事交流を行います。また、職員の退職等に対しては、正規職員のほか、再任用職員及び会計年度任用職員の採用により補充を行い、業務量に対する欠員が生じないように人員を配置します。併せて、業務の効率化及び見直しを行うことで、時間外勤務手当等の削減を図ります。</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> 自動車運送事業の抜本的見直しに伴い、職員10人が市長事務部局等へ出向したほか、9人の局内配置換えを行った。 自動車運送事業の抜本的見直しに伴う、民間への一部路線移譲の効果もあるが、適切な人員配置を行い時間外勤務数の削減を図った。 <table border="1" data-bbox="726 336 861 1086"> <thead> <tr> <th colspan="2">職員</th> <th rowspan="2">小計</th> <th rowspan="2">会計年度任用職員 ※R1は嘱託</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>電車事業課</th> <th>バス事業課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>85,345時間</td> <td>51,564時間</td> <td>136,909時間</td> <td>144,854時間</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>84,774時間</td> <td>78,213時間</td> <td>162,987時間</td> <td>185,535時間</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>571時間△</td> <td>26,649時間△</td> <td>26,078時間△</td> <td>14,681時間△</td> </tr> </tbody> </table>	職員		小計	会計年度任用職員 ※R1は嘱託	合計	電車事業課	バス事業課	R2	85,345時間	51,564時間	136,909時間	144,854時間	R1	84,774時間	78,213時間	162,987時間	185,535時間	増減	571時間△	26,649時間△	26,078時間△	14,681時間△	総務課
職員		小計	会計年度任用職員 ※R1は嘱託	合計																							
電車事業課	バス事業課																										
R2	85,345時間	51,564時間	136,909時間	144,854時間																							
R1	84,774時間	78,213時間	162,987時間	185,535時間																							
増減	571時間△	26,649時間△	26,078時間△	14,681時間△																							
32	P29	<p>部品の再利用や直営施工等の活用</p> <p>ICカードリーダーや音声合成放送装置など、バス車両更新に伴い保管できるものについては、部品などを含めできる限り再利用に努めるとともに、電車の板金塗装や窓ガラス研磨など、局内で委嘱に対応できるものは直営で実施するなど、今後とも費用対効果を勘案し、修繕費等の削減に努めます。</p>	○	<p>【電車事業課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電車の板金塗装（10両）や窓ガラス研磨（23両）、車軸超音波梁橋検査について、業者へ業務委託せず局職員で行うことにより、経費削減に努めた。 <p>【バス事業課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 車両の更新や減車に合わせて、必要に応じて利用可能な部品をストックし、再利用に努めた。 	電車事業課 バス事業課																						
33	P30	<p>施設等長寿命化計画の推進</p> <p>建築物や軌道事業、自動車運送事業に係るインフラ等に関して、中長期的な維持管理、更新等に係るトータルコストの削減、予算の平準化を目指し、令和元年度に策定した施設等長寿命化計画を推進します。</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島市交通局施設等長寿命化計画推進委員会及び幹事会を開催し、「鹿児島市交通局施設等長寿命化計画」の推進、進行管理を行った。 長寿命化計画推進委員会開催実績：1回 長寿命化計画推進委員会幹事会開催実績：2回 	総務課																						

(2) 経費節減

実施 No.	計画 掲載	具体的な取組	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課
34	P30	光熱水費など管理経費の削減 全職員に経費節減意識を徹底することにより、鹿児島市地球温暖化対策アクションプラン(事務事業編)の数値目標に準じて、光熱水費及びコピー用紙購入量の削減に努めます。 [目標指標] 上荒田局舎の年間電気使用量 (H30末) 160,000KWh → (R8末)計画期間内で3%削減を達成	○	【総務課】 ●局舎及びバス整備工場の電力供給を競争入札で契約した。 ・契約(供給)期間：令和2年8月1日～令和3年7月31日 【総務課】 ●市の節電対策を踏まえ、局独自の節電対策を各課に依頼した。 ・冷房の設定温度(28℃)、暖房器具使用時の室内温度(19℃)の徹底 ・始業前、昼休み及び離席時等の消灯を徹底 ・コピーの使用枚数の削減 など [目標指標の実績] 上荒田局舎の年間電気使用量：162,123KWh 対前年度増減：4,258KWh [令和元年度実績：157,865KWh]	総務課 総務課
35	P30	エコドライブの徹底 バスにおけるアイドリングストップ等の活用や、電車における積り運転の徹底により、エコドライブに努め、燃料費や電力使用量の削減を図ります。	○	【電車事業課】 ●専用軌道において指定した場所や交差点の手前、対抗車両との離合時に、ノッチオフによる積り運転を行った。 【バス事業課】 ●乗務員研修や点呼時に、あらためてアイドリングストップの必要性を促し、乗務員一人一人の意識改革に繋がるよう周知を図った。	電車事業課 バス事業課

(3) 増収対策

実施 No.	計画 掲載	具体的な取組	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課
36	P30	運賃の見直し等の検討 <新規> 将来にわたり市交運事業を継続するため、利用状況や収支状況等も踏まえ、適正な運賃のあり方等について検討します。	△	●運賃の見直しについては、自動車運送事業の抜本的見直し後の適正な原価等を踏まえ検討することとしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響による大幅な減収を受け、経営計画の見直しを前倒しする中で、併せて具体的に検討する予定である。	総合企画課
37	P30	企画乗車券の価格の見直し <新規> キョート等の企画乗車券に、新たなオプションの付加等を検討した上で、販売価格を見直します。	△	●キョートの販売価格の見直しについて、令和3年度に、船舶局と協議する予定である。	総合企画課

(3) 増収対策

施策 No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課
38	P30	<p>広告収入の拡大</p> <p>訴求効果が高く、魅力ある媒体を新たに企画・提供するとともに、機会を捉えて期間限定の広告料割引キャンペーンを実施するなど、広告主の掲出意欲を高めるほか、既存媒体の料金見直し等により、広告収入の拡大を図ります。</p> <p>【目標指標】 車体広告の年間稼働率 (H30末)72.3% → (R8末)90.0%</p>	○	<p>● 新規媒体設定等の参考とするため、指定広告取次人との意見交換をメールにより実施した。</p> <p>● 意見提出：15者/25者</p> <p>● 電車の新たな広告媒体を設定した。</p> <p>● 7500形車体全面広告(令和2年10月～)</p> <p>● 既存媒体の料金見直し(令和2年4月～)</p> <p>● 電車帯扉ポスター：121円/1枚1日 → 132円/1枚1日</p> <p>● バス車内側面ポスター：99円/1枚1日 → 110円/1枚1日</p> <p>● 企業等へ局の広告媒体案内のDMを送付した。</p> <p>● 市内の病院及び市電沿線のクリニック等：103施設</p> <p>● 市内の不動産会社、住宅メーカー等：43社</p> <p>【目標指標の実績】 車体広告の年間稼働率：82.3% (令和3年3月31日時点) 対前年度増減：8.0% [令和元年度実績：74.3%]</p>	総合企画課
39	P30	<p>広告媒体の価値向上 <新規></p> <p>老朽化している広告枠の建替や補修等を実施し、広告媒体としての価値を高めるほか、全ての広告媒体をまとめた資料を作成し、営業活動に活用します。</p>	○	<p>● 専用軌道の沿線看板広告枠の建替を行った。</p> <p>● 谷山電停沿線看板7枠(令和2年8月)</p>	総合企画課
40	P30	<p>観光業界との連携による乗車券等の販売推進</p> <p>観光をはじめ、本市への訪問者が増加していることから、観光コンベンション協会等と連携した利用促進PRに努めるとともに、ホテル等を対象に、一日乗車券等の販路拡大や販売推進に取り組みます。</p>	○	<p>● 市内のホテルや旅行代理店等への委託販売を勧奨し、新規委託販売契約を締結した。</p> <p>● 新規委託販売店数：2件</p> <p>● 総委託販売店数：108件 (令和3年3月31日時点)</p> <p>● 総委託販売実績：28,268,300円</p> <p>● 対前年度増減：△62,281,250円 [令和元年度実績：90,549,550円]</p> <p>● 鹿児島市観光サイト「かごしま市観光ナビ」にシティビューや利便性の高い「一日乗車券」の情報等を掲載した。</p>	総合企画課
41	P30	<p>グッズ販売の推進 <拡充></p> <p>交通局のイメージアップと市電・市バスの利用促進等を図るため、オリジナルグッズの製作・販売などを行うとともに、新たな販路拡大に向けて積極的に取り組みます。また、局舎1階の待合所スペースを改装し、グッズに触れ、楽しめる空間を提供することにより、販売促進や局のPRを行います。</p>	○	<p>● 新たなオリジナルグッズとして、クリアファイル(2種類)、「電車型ホッチキス」及び「絆創膏」を製作するとともに、オリジナルグッズ購入者へ「すべらないシート」の配布を行った。</p> <p>● 発売開始日 クリアファイル(2種類)：令和2年4月17日 電車型ホッチキス・絆創膏：令和2年10月1日</p> <p>● 販売実績 販売額：533,900円 費用額：275,086円 収益額：258,814円</p>	総合企画課
42	P31	<p>インターネット等を活用した車両部品等の売却 <新規></p> <p>老朽化等により不要となった市電・市バスの車両部品や備品等について、インターネット等を活用して売却し、増収を図ります。</p>	△	<p>● 官公庁オークションの実績のある本市特別滞納整理課及び熊本市交通局から情報を収集し、令和3年度から開始予定のインターネットを活用した車両部品等の売却のための準備を行った。</p>	経理課

(3) 増収対策

施策No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課
43	P31	イベント時などの臨時運行 サマーナイト大花火大会をはじめとする各種イベント等の集客状況の把握に努め、臨機応変に増収の対応を行うことにより増収を図ります。	○	【電車事業課】 ● 新型コロナウイルス感染症の影響により、縮小や中止されるイベントが多かったが、必要に応じ対応を行った。 - おはら祭：臨時運行(コース、ダイヤ変更で対応) 【バス事業課】 ● 新型コロナウイルス感染症の影響により、縮小や中止されるイベントが多かったが、必要に応じ対応を行った。 - おはら祭：迂回運行	電車事業課 バス事業課
44	P31	企画電車等の運行の推進 公的機関、企業などとのタイアップやハウイン、クリスマスなど季節に応じた企画電車の運行について、カフエトラムやNexTram KIRIKO等の貸切運行を推進し、イベント企画事業者等に対して重点的に周知・広報を行います。	○	【電車事業課】 ● イベント企画事業者等と装飾や音響等について必要な協議を実施し、連携を密にすること で、貸切イベントの円滑な運行に積極的に協力した。 - 企画電車運行実績：5件 (20回) - クリスマス電車、おでん電車、マグマ焼き芋電車 など 対前年度増減：△8件 (△32回) [令和元年度実績：13件 (52回)]	総合企画課 電車事業課
45	P31	ICTを活用した貸切運行の促進 <新規> 市電の貸切運行を促進するため、局ホームページに、予約受付可能日時や利用可能車両一覧等を表示するほか、利用予約申込フォームを構築するとともに、貸切バスの予約に必要な基本情報をまとめた書式を提示します。	△	【総合企画課・電車事業課・バス事業課】 ● 予約申込フォームの内容及び実施時期について、検討中である。	総合企画課 電車事業課 バス事業課

(4) 効果的な資産の活用等

施策No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課
46	P31	路線移譲に伴う資産の処分等 市バスの一部路線の移譲により使用しなくなる車両や土地等の資産については、民間事業者の路線維持にも配慮しながら、関係法令に即し、貸付や売却等を行います。	○	・市バスの一部路線の移譲により使用しなくなる車両や土地等の資産については、民間事業者の路線維持にも配慮しながら、貸付や売却等を行った。 [目標指標の実績] 遊休資産(車両・土地)の売却額：7,545,340円(車両売却のみ)	経理課
47	P31	浜町営業所(土地・建物)の活用方法の検討 市バスの一部路線の移譲により、当面、留め置き場・休憩所として運用する浜町営業所について、その後の活用方法を検討します。	△	【経理課・バス事業課】 ● 回転用地として活用していない場所を暫定的に廃車バス置場として使用したところであり、令和3年度に具体的な検討を行う予定である。 ● 局として、将来も使用する見込みがない部分については、今後有効活用を検討することとする。	経理課 バス事業課

◎=実施済(完了)のもの
○=実施中(継続中)のもの
△=実施時期及び実施内容を検討中のもの、又は実施しなかったもの

◎=実施済(完了)のもの
○=実施中(継続中)のもの
△=実施時期及び実施内容を検討中のもの、又は実施しなかったもの

(4) 効果的な資産の活用等

計 画 掲 載 策 No. 48	具体的な取組 多様な資金調達方法の検討 広告企画やグッズの製作等、新たな事業を実施する場合に要する経費について、公募型資金調達などにより市場調達する手法を研究します。	実施状況 ○	令和2年度実績 (実施内容) ●局が製作すべき市電路線図等のチラシを広告媒体として提供し、当該広告料で製作費用を賄い、経費節減等を図った。 ・局オリジナルカレンダー(製作部数：3,000部) ・市電路線図チラシ(製作部数：30,000部)	所管課 総合企画課
------------------------------------	---	---------------	---	------------------

(5) 組織の活性化

計 画 掲 載 策 No. 49	具体的な取組 活力ある職場づくり 職員がやりがいや達成感を持ち、さらに意欲的な接客サービスに繋がるように、優れた取組を行った職員の表彰や、職員提案制度を実施するとともに、技能労務職から事務職等への任用を推進し、職場の活性化を図ります。また、業務改善運動実施計画を策定し、各職場における主体的な業務改善の取組を促進することで、職員のさらなる意識向上を目指します。	実施状況 ○	令和2年度実績 (実施内容) 【総務課】 ●職員表彰を実施した。(令和2年7月1日) ・永年勤続10名 ・接客・案内マナー賞4名 ・無事故記録賞15名 ・マスタードライバー認定1名 【総合企画課】 ●業務提案や業務改善実績について募集し、表彰した。 ・募集期間：令和2年7月1日～7月31日 ・業務提案件数：局職員11件、市職員22件 ・業務改善実績件数(局職員のみ対象)：12件 ・表彰：業務提案:局職員1件、市職員3件、業務改善実績：6件	所管課 総務課 総合企画課																																														
50	働き方改革等の推進 働きやすい職場環境を整えていくため、働き方改革関連法の施行にあわせて、長時間の時間外労働の是正や時季を指定した有給休暇制度の活用促進を図ります。	実施状況 ○	●一人当たりの年休取得日数は前年度と同程度を維持し、時間外労働日数は縮減を図ることができた。 <table border="1"> <tr> <td>人員数</td> <td>年休取得</td> <td>平均年休</td> </tr> <tr> <td>(年度末現在)</td> <td>延べ日数</td> <td>取得日数</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>258人</td> <td>4,948日</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>276人</td> <td>5,246日</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>△18</td> <td>△298日</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0日</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">職員</td> <td>小計</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>電車事業課</td> <td>バス事業課</td> <td></td> <td>※R1は嘱託</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>85,345時間</td> <td>51,564時間</td> <td>136,909時間</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>84,774時間</td> <td>78,213時間</td> <td>162,987時間</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>571時間</td> <td>△26,649時間</td> <td>△26,078時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>△14,603時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>△40,681時間</td> </tr> </table>	人員数	年休取得	平均年休	(年度末現在)	延べ日数	取得日数	R2	258人	4,948日	R1	276人	5,246日	増減	△18	△298日			0日	職員		小計	合計	電車事業課	バス事業課		※R1は嘱託	R2	85,345時間	51,564時間	136,909時間	R1	84,774時間	78,213時間	162,987時間	増減	571時間	△26,649時間	△26,078時間				△14,603時間				△40,681時間	総務課
人員数	年休取得	平均年休																																																
(年度末現在)	延べ日数	取得日数																																																
R2	258人	4,948日																																																
R1	276人	5,246日																																																
増減	△18	△298日																																																
		0日																																																
職員		小計	合計																																															
電車事業課	バス事業課		※R1は嘱託																																															
R2	85,345時間	51,564時間	136,909時間																																															
R1	84,774時間	78,213時間	162,987時間																																															
増減	571時間	△26,649時間	△26,078時間																																															
			△14,603時間																																															
			△40,681時間																																															

4 公営交通事業者としての役割を踏まえた事業推進

(1) 交通施策との連携

施策 No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課
51	P32	公共交通不便地対策との連携 公共交通政策の一環として市が取り組んでいる公共交通不便地対策において、現在交通局が担っている「あいばす(小原地域及び小野・伊敷地域)」の安定的な運行を行い、生活路線の維持・確保を図ります。	○	●引き続き、市交通政策課の交通不便地対策事業の一部を受託し、あいばすを運行した。 ＜小原地域：平成29年1月5日運行開始＞ ・運行便数：火・木・土は10便、月・水・金は2便運行 ・利用実績：計2,994人 対前年度増減：△234人〔令和元年度実績：3,228人〕 ＜小野・伊敷地域：平成29年2月8日運行開始＞ ・運行便数：月・水・金は7便、火・木・土は2便運行 ・利用実績：計936人 対前年度増減：△15人〔令和元年度実績：951人〕 ※小原、小野、伊敷地域ともに、令和2年12月31日から令和3年1月3日の期間運休 ※敬老・友愛バス利用者を含む	バス事業課
52	P32	路線バスと市電との結節機能の向上等 鹿児島市公共交通ビジョンに基づき、コンパクトな市街地の形成に資するよう、14番谷山線、17番宇宿線、18番大学病院線において、路線バスと市電との結節機能を高めるファイダー路線を運行します。	○	●引き続き、ファイダー路線の14番谷山線、17番宇宿線、18番大学病院線を運行した。	バス事業課

(2) 観光施策との連携

施策 No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課
53	P32	観光周遊バス運行との連携 観光政策の一環として市が取り組んでいる観光周遊バス運行において、現在交通局が担っている「カゴシマシティビュー」「サクラジマアイランドビュー」の安定的な運行を行い、観光客等が市街地や桜島を快適に回遊し体感できる交通網づくりに貢献します。また、市観光部門と連携し、乗車券のあり方等について研究します。	○	●引き続き、市観光振興課のカゴシマシティビュー運行事業、サクラジマアイランドビュー運行事業に基づき、観光地周遊バスを運行した。 ＜カゴシマシティビュー＞ ・運行便数：1日19便、30分間隔で運行 ・利用実績：80,258人 対前年度増減：△149,279人〔令和元年度実績：229,537人〕 ＜サクラジマアイランドビュー＞ ・運行便数：1日15便、30分間隔で運行 ・利用実績：82,268人 対前年度増減：△270,176人〔令和元年度実績：352,444人〕 ※カゴシマシティビュー、サクラジマアイランドビューともに、新型コロナウイルス感染症の影響による運休期間や減便のほか、台風や積雪、落石による迂回運行などがある。	バス事業課

(2) 観光施策との連携

施策No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課																																												
54	P32	<p>「かごでん」のさらなる活用</p> <p>観光客の利用頻度が最も高い鹿児島中央駅前電停を発着点として、観光レトロ電車「かごでん」を運行し、観光ボランティアによる観光名所やお土産情報など地元ならではの案内を実施します。また、旅行者とタイアップし、「かごでん」を利用した新たなイベントを企画・実施するなど、観光電車としての魅力をさらに増すことで利用者の増加を図ります。</p>	○	<p>令和2年度実績 (実施内容)</p> <p>● 引き続き、観光電車「かごでん」を運行し、本市観光振興に寄与した。 ・運行便数：土・日・祝日 10:00 (1便) ※令和2年2月1日から、運行便数を2便から1便に減便 ・利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">定期運行</th> <th colspan="2">イベント企画</th> <th colspan="2">貸切運行</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>便数</th> <th>利用者数</th> <th>便数</th> <th>利用者数</th> <th>件数</th> <th>利用者数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>292人</td> <td>48便</td> <td>0人</td> <td>0便</td> <td>70人</td> <td>3件</td> <td>362人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1,695人</td> <td>205便</td> <td>0人</td> <td>0便</td> <td>355人</td> <td>16件</td> <td>2,050人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>△ 1,403人</td> <td>△ 157人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>△ 285人</td> <td>△ 13件</td> <td>△ 1,688人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・運休期間 ① 令和2年2月29日～6月7日 ② 令和2年7月11日～10月11日 ③ 令和3年2月11日～3月7日</p>		定期運行		イベント企画		貸切運行		合計		利用者数	便数	利用者数	便数	利用者数	件数	利用者数	利用者数	R2	292人	48便	0人	0便	70人	3件	362人		R1	1,695人	205便	0人	0便	355人	16件	2,050人		増減	△ 1,403人	△ 157人	0人	0人	△ 285人	△ 13件	△ 1,688人		電車事業課
	定期運行		イベント企画			貸切運行		合計																																									
	利用者数	便数	利用者数	便数	利用者数	件数	利用者数	利用者数																																									
R2	292人	48便	0人	0便	70人	3件	362人																																										
R1	1,695人	205便	0人	0便	355人	16件	2,050人																																										
増減	△ 1,403人	△ 157人	0人	0人	△ 285人	△ 13件	△ 1,688人																																										
55	P32	<p>桜島フェリーとの連携</p> <p>世界文化遺産や日本ジオパーク登録等により、国内外からの観光客等が増加していることから、市バス・電車・フェリー共通利用券(キューブ)制度やオリジナルグッズの相互販売など、桜島フェリー(市船舶局)との連携を継続するとともに、新たな企画等を検討し、観光客等の周遊性の向上と利用促進を図ります。</p>	○	<p>令和2年度実績</p> <p>● 鹿児島市営バス・電車・フェリー共通利用券(CUTE)を販売した。(本局、市役所前、谷山電停及びイオン鹿児島鴨池店乗車券発売所、桜島営業所) ● 船舶局でサクラジマアイランドビューー1日乗車券の委託販売を実施した。 ・船舶局販売実績：大人券 731枚、小児券 34枚 対前年度増減：大人券 △3,593枚、小児券 △155枚 [令和元年度実績：大人券 4,324枚、小児券 189枚]</p> <p>● オリジナルグッズの相互販売を実施した。 ・販売実績：交通局 1個 1,000円、船舶局 4個 2,300円 [令和元年度実績：船舶局 17個 10,000円] ※交通局での船舶局グッズの販売実績はなし</p>	総合企画課																																												
56	P32	<p>新型花電車の製作・運行 <新規></p> <p>現行の花電車は老朽化が進み、今後の維持管理が難しいため、交通局が保有する500形車両を提供し、市観光振興部門と連携して新型花電車の製作について検討します。また、製作後においては、おはら祭をはじめとするイベント等において安全運行を行います。観光振興に貢献します。</p>	○	<p>令和2年度実績</p> <p>● 504号を改造し、新型花電車(花3号)の台車部分を製作した。 ● 車体の飾り付けについては、令和4年度以降の施工に向け、観光振興課と協議する予定である。</p>	電車事業課																																												
57	P32	<p>路面電車観光路線検討との連携 <新規></p> <p>観光施策の一環として市が取り組んでいる路面電車観光路線検討において、基本計画の策定に係る技術面からの支援に努めるとともに、策定後は、同計画に基づく具体的な手続き等を進め、観光振興に貢献します。</p>	△	<p>令和2年度は、市交通政策課において基本計画策定に係る業務委託、策定委員会開催等が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済情勢の深刻化等を理由に、県が当面の間、ドルフィンポイント跡地利用に関する公募を延期したことを受け、市の令和2年度中の業務執行も困難となったため、事業の具体的な進捗はなかつたところであり、交通局としても、今後の県・市の動向を注視しながら、必要な支援等を行っていききたいと考えている。</p>	電車事業課																																												

(3) まちづくり施策との連携

計画掲載 施策No.	具体的な取組	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課
58	防災・危機管理との連携 鹿児島市地域防災計画に基づき、台風等の風水害や桜島の火山爆発などの災害時において、市災害対策本部における各対策部の連携による市バスを用いた避難への迅速な対応など、交通局に課せられた役割を果たします。また、市が実施する桜島火山爆発総合防災訓練などの各種訓練等に参加します。	○	● 市災害対策本部における各種訓練等に参加した。 ・桜島火山爆発総合防災訓練 ・災害対策本部設置訓練(地震・津波) など	総務課
59	環境施策との連携 低公害バスの運行や軌道敷内芝生の維持管理、市電のブレーキ時における電気の再利用など、環境に配慮した取組を継続するとともに、これらの取組を広くPRすることにより、利用促進に繋がります。また、地球温暖化を防止するために鹿児島都市圏地球温暖化防止交通対策協議会が実施しているエコ通勤推進活動に参加、協力し、公共交通機関への利用転換や利用促進に努めます。	○	【総合企画課】 ● 鹿児島都市圏地球温暖化防止交通対策協議会が実施しているエコ通勤推進活動に参加し、平成21年度から引き続き、エコ通勤特別割引制度に協力した。 ・エコ通勤割引利用者数：平成21年11月11日～令和3年3月31日) 電車：1,603人、バス：10,420人 【電車事業課】 ● 引き続き、市公園緑化課から業務を受託し、軌道内芝生の芝刈・散水業務を実施した。 【バス事業課】 ● 排出ガス規制適合車を導入し、地球温暖化防止に取り組んでいる。 [目標指標の実績] 排出ガス規制適合車の割合(バス)：83.7%(令和3年3月31日時点) 対前年度増減：19.2% [令和元年度実績：84.5%]	総合企画課 電車事業課 バス事業課

◎=実施済(完了)のもの
 ○=実施中(継続中)のもの
 △=実施時期及び実施内容を後計中のもの、又は実施しなかったもの

【目標指標】 排出ガス規制適合車の割合(バス)
 (H30末)63.8% → (R8末)80.0%

(3) まちづくり施策との連携

施策No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課																																																																	
60 P33	<p>①=実施済(完了)のもの ○=実施中(継続中)のもの △=実施時期及び実施内容を検討中のもの又は実施しなかったもの</p> <p>福祉施策との連携 今後とも、低床型の車両を積極的に運行するほか、敬老バス・友愛バス制度との連携や運転免許の自主返納に伴う市電・市バスの半額制度への協力、シニア定期券の発行など、高齢者や障害者が気軽に利用できる環境を整え、利用促進に繋がる取組を進めます。</p> <p>[目標指標] シニア定期券販売枚数 (H30末)2,039枚/年 → (R8末)2,100枚/年</p>	<p>○</p>	<p>【総合企画課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お遠者クラブ等から要請を受けて市政出前トークを実施し、敬老バス制度やシニア定期券などの利用方法等について説明した。 ●運転免許自主返納引制度への協力を行った。 ●運転免許自主返納割引利用実績 <table border="1" data-bbox="430 638 550 1086"> <thead> <tr> <th>電車</th> <th>バス</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>796件</td> <td>362件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>789件</td> <td>913件</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>7件</td> <td>△ 551件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>△ 544件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ●敬老バス・友愛バス制度との連携を行った。 ●敬老バス・友愛バス利用実績 <table border="1" data-bbox="630 291 766 1086"> <thead> <tr> <th colspan="2">電車</th> <th colspan="2">バス</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>敬老バス</th> <th>友愛バス</th> <th>敬老バス</th> <th>友愛バス</th> <th>敬老バス</th> <th>友愛バス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>749,404件</td> <td>688,661件</td> <td>1,059,776件</td> <td>632,805件</td> <td>1,809,180件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1,019,437件</td> <td>765,314件</td> <td>1,941,829件</td> <td>1,040,101件</td> <td>2,961,266件</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>△ 270,033件</td> <td>△ 76,633件</td> <td>△ 882,053件</td> <td>△ 407,496件</td> <td>△ 1,152,086件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>△ 484,129件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【電車事業課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●約4本に1本の割合で、低床車両を運行した。 <p>【バス事業課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一部の小型バスを除き、全車低床バスで運行した。 ※乗合バス148両中、133両が低床バス <p>【目標指標の実績】 シニア定期券販売枚数</p> <table border="1" data-bbox="1013 649 1133 1097"> <thead> <tr> <th>電車</th> <th>バス</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>824</td> <td>525</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>938</td> <td>957</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>△ 114枚</td> <td>△ 432枚</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>△ 546枚</td> </tr> </tbody> </table>	電車	バス	合計	R2	796件	362件	R1	789件	913件	増減	7件	△ 551件			△ 544件	電車		バス		合計		敬老バス	友愛バス	敬老バス	友愛バス	敬老バス	友愛バス	R2	749,404件	688,661件	1,059,776件	632,805件	1,809,180件	R1	1,019,437件	765,314件	1,941,829件	1,040,101件	2,961,266件	増減	△ 270,033件	△ 76,633件	△ 882,053件	△ 407,496件	△ 1,152,086件					△ 484,129件		電車	バス	合計	R2	824	525	R1	938	957	増減	△ 114枚	△ 432枚			△ 546枚	<p>総合企画課 電車事業課 バス事業課</p>
電車	バス	合計																																																																				
R2	796件	362件																																																																				
R1	789件	913件																																																																				
増減	7件	△ 551件																																																																				
		△ 544件																																																																				
電車		バス		合計																																																																		
敬老バス	友愛バス	敬老バス	友愛バス	敬老バス	友愛バス																																																																	
R2	749,404件	688,661件	1,059,776件	632,805件	1,809,180件																																																																	
R1	1,019,437件	765,314件	1,941,829件	1,040,101件	2,961,266件																																																																	
増減	△ 270,033件	△ 76,633件	△ 882,053件	△ 407,496件	△ 1,152,086件																																																																	
				△ 484,129件																																																																		
電車	バス	合計																																																																				
R2	824	525																																																																				
R1	938	957																																																																				
増減	△ 114枚	△ 432枚																																																																				
		△ 546枚																																																																				
61 P33	<p>都市計画との連携 かごしまコンパクトなまちづくりプラン(立地適正化計画)に基づき、コンパクトな市街地の形成に資するよう、住宅団地や集落と中心市街地等を結ぶ市バス路線網の構築等を検討します。</p>	<p>○</p>	<p>【総合企画課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市内で開催される会議に参加した。 ●団地再生推進庁内ワーキンググループ(令和2年7月7日書面開催) ●団地再生推進庁内検討会(令和2年8月11日書面開催、令和3年1月5日書面開催) ●かごしまコンパクトなまちづくりプラン推進庁内会議(令和2年10月20日書面開催) <p>【バス事業課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●団地再生推進事業対象団地の一部(伊敷・伊敷NT・緑ヶ丘・玉里・城山・原良・武岡)において、路線バスを運行した。 	<p>総合企画課 バス事業課</p>																																																																		

(4) 地域社会に根ざした取組

施策 No. 計画掲載	具体的な取組 ◎=実施済(完了)のもの ○=実施中(継続中)のもの △=実施時期及び実施内容を検討中のもの、又は実施しなかったもの	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課																				
62 P33	職場体験等やインターンシップの受入 次代を担う中学生・高校生・高職生の職場体験や園児学童等の施設見学を通じて、市電・市バスに対する理解と親しみを持ってもらえる機会を提供するとともに、インターンシップの受入を行います。 【目標値】 職場体験学習アンケート結果で「交通局を選んでよかった」の割合 (H30末)60% → (R8末)90%	○	【総務課】 ● 中学校1校3名、高校1校3名の職場体験の受入を行った。 ● 電車：乗車予定の面替機の分解・分別作業、工場見学等 ● バス：清掃作業、自動車点検等(令和2年度実績なし) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月～9月は受入を行わなかった。 対前年度増減：△35名(令和元年度実績：中学校15校38名、高校1校3名) 【電車事業課】 ● 園児学童等の施設見学(資料展示室・市電整備工場)の受入を行った。 ● 施設見学受入実績 <table border="1" data-bbox="539 524 657 1093"> <thead> <tr> <th></th> <th>施設見学</th> <th>小児・小人</th> <th>大人</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>26件</td> <td>138人</td> <td>73人</td> <td>211人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>119件</td> <td>779人</td> <td>1,993人</td> <td>2,772人</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>△ 93件</td> <td>△ 641人</td> <td>△ 1,920人</td> <td>△ 2,561人</td> </tr> </tbody> </table>		施設見学	小児・小人	大人	合計	R2	26件	138人	73人	211人	R1	119件	779人	1,993人	2,772人	増減	△ 93件	△ 641人	△ 1,920人	△ 2,561人	総務課 電車事業課
	施設見学	小児・小人	大人	合計																				
R2	26件	138人	73人	211人																				
R1	119件	779人	1,993人	2,772人																				
増減	△ 93件	△ 641人	△ 1,920人	△ 2,561人																				
63 P33	ゆーゆーフェスタ等イベントの実施 交通局敷地などにおいて、ゆーゆーフェスタや電車運転体験など、町内会をはじめ関係団体等と連携しながら、市電・市バスに関連したイベント等を行うことで、多くの方々に直接車両等に触れたいいただき、親しみ・興味を持っていただく機会を提供します。また、イベント等の検討にあたっては、新規利用者の獲得や乗車マナーの啓発等に向け、適宜、内容の見直しを検討します。	△	【総合企画課】 ● 例年10月下旬に開催しているゆーゆーフェスタについて、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催を中止した。 【電車事業課】 ● 例年開催している市電運転士体験(6月[路面電車の日]、8月[夏休み]、10月[レイルマンズ]、1月[山形屋夢袋]、3月[春休み])、かごでんツアー(7月)、市電運転士お仕事体験(8月)について、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催を中止した。 【バス事業課】 ● 例年開催している整備士体験、バスガイド体験(8月)について、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催を中止した。	総合企画課 電車事業課 バス事業課																				
64 P33	職員によるボランティア活動 交通局が地域社会の一員として社会貢献を果たすために、局舎周辺や軌道内の清掃活動に取り組みとともに、職場単位や職員個人でのボランティア活動を支援します。	○	● 毎週第4水曜日にボランティア清掃を行った。	総務課																				
65 P34	企業や地域団体との連携 企業や商業施設、地域団体等と連携し、各種イベントへの参加協力や乗車体験等の実施、停留場等付近のマップ作成、グッズの共同開発等に取り組み、地域活性化にも寄与しながら、市電・市バスのイメージアップと魅力向上を図ります。	○	● マルヤガーデنزと鹿沼高ロフトの周年イベントに参画し、車両部品の展示やオリジナルグッズの販売を行うことにより、市電・市バスのイメージアップを図った。 ・イベント名：「かごしまの乗り物 POP UP SHOP」 ・開催期間：令和2年4月17日～5月24日(4月22日～5月6日はイベント休止)	総合企画課																				

(4) 地域社会に根ざした取組

施策 No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和2年度実績 (実施内容)	所管課
		<p>①=実施済完了のもの ○=実施中(継続中)のもの △=実施時期及び実施内容を後付中のもの又は実施しなかったもの</p>			
66	P34	<p>大学等との連携 それぞれの特つ人材や資源、機能等を活用するため、市と協定を締結している大学や専門学校等と連携し、若者感覚を取り入れたイベントの実施やグッズの共同開発、デザイン電車の製作等に取り組み、市電・市バスの魅力向上と収入増を図ります。</p>	○	<p>●市内の大学・短大・専門学校との学生による「マグマシティ」市電デザインプロジェクトにてサインした、シンボルマーク「マグマシティ」と「火山の妖精・さつマグニオン」のラッピング電車の運行を、令和元年度から引き続き実施した。</p>	総合企画課
67	P34	<p>資料展示室のリニューアル <新規> 多くの市民の方々等に繰り返し訪れていただけたらよう、供用開始から一定期間が経過している局舎3階の資料展示室について、展示品の入れ替えや年表等の書き換えなど、全体的なリニューアルを検討します。</p>	△	<p>●全体的なリニューアルについて、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経営への影響を考慮し、実施時期等を含め検討した。</p>	総務課

